

クラウドファンディング支援者様対象

松竹大谷図書館見学会ご報告

事務局 武藤祥子

【第4弾】歌舞伎や映画、日本文化の歴史を後世に伝える。」プロジェクトで、5万円のご支援をしてくださった方を対象として、11月26日(木)に松竹大谷図書館見学会を開催いたしました。

見学会は、午前(10~12時)と午後(14~16時)の2回行いました。

どちらも、(1)閲覧室で当館の資料の説明、(2)図書館員体験(ラベル貼り、台本カバー作り)、(3)書庫内見学の順番で行いました。(2)の図書館員体験は、昨年同様の台本カバー作り体験に加えて、今回はGHQ検閲台本にラベルを貼る、という本年のプロジェクトならではの体験をして頂きました。

まず、閲覧室で今回のご支援へのお礼を述べたあと、当館の資料の特徴についてご説明しました。今回は、演劇は「平成25年4月歌舞伎座開場公演」の『弁天娘女男白浪』『お祭り』の資料、そして映画は『秋刀魚の味』の資料をご覧に入れながら説明いたしました。午前の部では見学者のご了承を得て、テレビ東京の取材が入りました。※放送に使用されるかどうかは未定です。

また、これまでのご支援でデジタル化を行った『蒲田週報』、『芝居番付』、そして今回のプロジェクトのご支援でデジタル化を行う「GHQ検閲歌舞伎台本」をご覧頂き、各作業の流れやこれからの予定についてご説明しました。



GHQ検閲歌舞伎台本にラベルを貼っているところです

次に、図書館員体験のコーナー(隣の机)に移り、始めに、図書ラベルをGHQ検閲歌舞伎台本の決まった位置に貼るという体験をして頂きました。これは、40冊程のGHQ検閲歌舞伎台本が未整理のまま保管されていたのを、今回のプロジェクトを機に登録する事になり、ラベル貼り体験へとつながりました。台本カバー作り体験もして頂き、完成した台本カバーは記念としてお持ち帰り頂きました。

その後、まず今年の夏から使用を開始した地下書庫をご案内し、昭和39年10月の東京オリンピック当時の英語で書かれた演劇ポスターをご覧頂きました。次に3階に戻り書庫をご案内し、劇場プログラムや台本を中心に、書架に並んだ資料をご覧頂きました。また、前夜のニュースで原節子さんの訃報を知り、出演作の台本やプログラムも急遽お見せいたしました。見学会終了後は、お名前をお入れしたカバーや、机上の展示をご覧頂きました。

今回は効率よく進行したつもりでしたが、図書館員体験の内容も、見学箇所も前回より増えましたので、あっという間の2時間でした。やはり書庫をご案内する時間が足りなかったなど、またまた反省しました。これからもより良い見学会を開催できるよう、頑張ってまいります。



午前の部



午後の部



外国人観光客向けの歌舞伎座夜興行「ナイトカブキ」のポスター



歌舞伎座の戦前のプログラム



映画台本の書架をお見せしています



修復を行った『蒲田週報』をお見せしています

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『グラスホッパー』	○	○	○		○
『劇場霊』	○	○	○		○
『愛を語れば変態ですか』	○	○	○		○

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 映画プログラム ■

『サヨナラの代わりに』 『恋人たち』 『コードネーム U. N. C. L. E.』
 『グリーン・インフェルノ』 『ハッピーエンドの選び方』 『リトルプリンス 星の王子さまと私』
 『東京無国籍少女』 『百日紅 Miss HOKUSA I』

■ 松竹系 11月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『源平布引滝 実盛物語』	○			
	『若き日の信長』	○			
	『曾我絢侠御所染 御所五郎藏』	○			
	『江戸花成田面影』	○		○	○
	『元禄忠臣蔵 仙石屋敷』	○			
	『歌舞伎十八番の内 勸進帳』				
	『天衣紛上野初花 河内山』	○			
第六十七回西川会			○		
新橋演舞場	『スーパー歌舞伎 II ワンピース』	○		○	○
松竹座 (大阪)	『はっぴとズボン』	○			
	『はるかなり道頓堀』	○		○	○
	『愛の設計図』	○			
	『お種と仙太郎』	○			
南座 (京都)	桂米朝追善落語会			○	
	OSKレビュー in Kyoto			○	○
平成中村座 (大阪)	『女暫』	○			
	『三升猿曲舞』	○			
	『江戸みやげ狐狸狸ばなし』	○		○	
	『平家女護島 俊寛』	○			
	『盲目物語』	○			
八千代座	坂東玉三郎特別舞踊公演			○	
永楽館	『青雲の座 出石の桂小五郎』				
	『お目見得口上』			○	
	『蜘蛛絲梓弦』				
地方巡業 (松竹大歌舞伎)	『教草吉原雀』			○	
	『新皿屋舗月雨暈 魚屋宗五郎』	○			

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 他社演劇公演資料 ■

吉祥寺シアター	10月	ティーファクトリー『ドラマ・ドクター』プログラム
紀尾井小ホール	11月	朗読ミュージカル『山崎陽子の世界』プログラム
紀伊國屋ホール	10月	岡部企画『姉しゃま 円谷幸吉とその時代』プログラム、台本
	11月	トム・プロジェクト『南阿佐ヶ谷の母』プログラム
紀伊國屋サザンシアター	11月	文学座『再びこの地を踏まず』プログラム、台本
		劇団俳優座『ラスト・イン・ラブソディ』プログラム、台本
国立劇場小劇場	10月	『邦楽名曲鑑賞会 道行四景』プログラム
		『文楽素浄瑠璃の会』プログラム
国立劇場大劇場	11月	『神霊矢口渡』プログラム、台本
		『伝統歌舞伎保存会研修発表会』プログラム
国立文楽劇場	10月	『東西名流舞踊鑑賞会』プログラム
	11月	『文楽公演』プログラム、床本
ザ・スズナリ	10月	劇団鳥獣戯画『山吹峠に鶯啼く』プログラム
		流山児★事務所『西遊記』プログラム、台本
シアタークリエ	10月	『放浪記』プログラム、台本
シアターグリーンBOXinBOX	11月	劇団いっぷく堂『11/22』プログラム
シアターコクーン	11月	『青い瞳』プログラム
シアタートラム	10月	はえぎわ『ゴードンとドーソン』プログラム
下北沢駅前劇場	11月	げんこつ団『ポリショイ・ライフ』プログラム
下北沢小劇場B1	10月	劇団東京フェスティバル『無心』プログラム
中日劇場	10月	『前川清・藤あや子特別公演』プログラム
テアトルエコー	10月	テアトルエコー『諸国を遍歴する二人の騎士の物語』プログラム
天王洲銀河劇場	10月	『ミュージカル スコット&ゼルダ』プログラム
東京芸術劇場シアターイースト	10月	てがみ座『地を渡る舟』プログラム
東京芸術劇場プレイハウス	10月	ルーマニア国立ラドゥ・スタンカ劇場『ガリバー旅行記・オイディプス』プログラム
博多座	11月	『三匹のおっさん』プログラム、ポスター、台本
博品館劇場	10月	宇和島伊達100年祭『天の赦すところ』プログラム
		グランワルツミュージカル『ALONE』プログラム
		なぎプロ・草薙良一プロデュース『かもめ飛ぶアイランドホテル』プログラム
		『海に響く軍靴』プログラム
本多劇場	10月	大人計画『七年ぶりの恋人』プログラム
三越劇場(日本橋)	11月	劇団若獅子『中山安兵衛の青春』プログラム、台本
明治座	11月	『かたき同志』プログラム、台本
六行会ホール	11月	みつわ会『くさまくら・三の酉』プログラム

■ 演劇雑誌 ■

『AAC』2015年Vol.86	『演劇ぶっく』2015年12月号
『Confetti』2015年DECEMBER	『演劇界』2016年1月号,新春特別付録「2016小道具ものがたりカレンダー」
『Confettiかわら本』2015年8月号,11月号	『国立演芸場公演ガイド』平成27年12月号
『SePT倶楽部 information』	『上方芸能』2015年12月
2015年11月号	『大向う』平成27年12月号
『あぜくら』平成27年11月号	『伝統文化新聞』2015年(114号)
『ほうおう』2015年11月号,12月号	『日本芸術文化振興会ニュース』平成27年12月号
『シアターガイド』2016年1月号	『日本劇作家協会会報 ト書き』2015年55号
『ジョイン』2015 Nov. No.85	『日本照明家協会誌』2015年11月号
『ステージぴあ』2015年11+12月号	『日本舞踊』67巻12月号
『テアトロ』2015年12月号	『悲劇喜劇』2015年11月号
『ミュージカル』2015年11月-12月号	『邦楽の友』平成27年12月号
『ラ・アルプ』2015年12月号	

(新着資料案内 続き)

■ 映画雑誌 ■

『NFCカレンダー』2016年12月号
『SCREEN』2016年1月号,付録「スター&監督大名鑑2015」
『キネマ旬報』2014年SPECIAL秋の増刊号,2015年12月上旬号,12月下旬号,2015年増刊戦後70年目の戦争映画特集
『シナリオ』2016年1月号
『シナリオ教室』2015年11月号,12月号
『ドラマ』2015年12月号

『映画テレビ技術』2015年12月号
『映画ビジネス』平成27年10月下旬号,11月上旬号
『映画撮影』2015 Nov No.207
『映画秘宝』2016年1月号
『映画論叢』2015年(40号)
『衛星劇場プログラムガイド』2015年12月号
『松竹(社報)』2015年(190号)
『日経エンタテインメント!』2015年12月号
『文化通信ジャーナル』2015年11月号

≫≫ 資料提供 (2015年10月~11月)

※許可を得た方のみ掲載しております

放送

- 『松竹創業120周年記念特番vol.3 名匠たちの足跡』2015年10月15日より31日 CS衛星劇場・ホームドラマチャンネル
映画『カルメン故郷に帰る』『マダムと女房』『二十四の瞳』『はたちの青春』『そよかぜ』等の映画作品・そのほか撮影所外観などのスチール写真を提供

●●●●●●●●●● 消防訓練に参加しました ●●●●●●●●●●

11月25日(水)に行われた銀座松竹スクエアビルの消防訓練に、当館スタッフ2名が参加いたしました。当館は当該ビルの3階にあります。

当日はまず防災訓練開始の放送の後「3階で火災を探知しました!」という女性のアナウンスが入りました。実は今回、想定火元が当館のあるフロアの給湯室という設定で、直近の私たちが火元の確認に向かいました。「火元発見!」直ちに非常扉から3階の別フロアに逃げ、緊急電話の受話器を取り上げます。各フロアに設置されているビル防災センター直通の緊急電話は、受話器を取った瞬間、全館に火災を知らせる非常放送起動装置でもあります。サイレンのあまりの音量に驚き、つかえながらも火元の場所を通



報しました。現場に駆け付けた警備員さんにも火元を告げ、私たちは非常階段で1階に下り、本部に避難完了とその人数を報告します。ビルの各フロアからも続々と避難者が下りてきました。避難終了後は「煙ハウス体験」と「消火器訓練」です。私たちは「煙ハウス」に向かい、真っ先に体験、四角いテントのような煙ハウスの中は煙が充満して真っ白で、鼻の

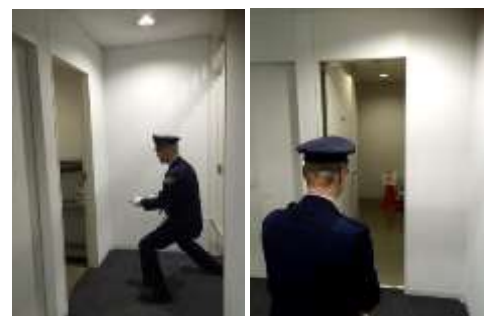
先くらいしか見えませんでした。でもその煙はお菓子のような甘い良い香りがしました。これがもし実際の火事の場合、鼻をつく異臭と目に見えない有毒なガスに囲まれるわけで、視界の悪さと相まって簡単には逃げられないことが予想されました。

体験後、京橋消防署築地出張所の方から「全ての皆さんが通報できて、初期消火ができるようになっていく事が重要」とのお話があり、全訓練が終了しました。



一方、私たちが逃げた3階の火元では…警備員さんが一人火元の消火に当たっていました。

これらは全て万が一に備えての訓練ですが、体験を積み重ねることで、さらに火災と災害に強いビルの一員として意識を高めていきたいと実感しました。



専門図書館協議会見学会（関東地区）

♪ 「民音音楽博物館 音楽ライブラリー」参加報告 ♪

日時：2015年10月30日（金）

13：30～15：30

参加者：井川繭子

東京信濃町にある民音音楽博物館は、2003年12月に登録博物館として東京都より認可された音楽専門の博物館である。その前身は、1974年11月に北新宿に設立された民音音楽資料館であり、以来約40年にわたりクラシック音楽専門の資料館として、一般の愛好家から専門家まで幅広く利用されてきた。

今回の見学会では地下1階にある音楽ライブラリーと1、2階の音楽博物館を見学させていただいた。

始めに音楽ライブラリーの閲覧室で、館長の上妻重之氏より民音音楽博物館の業務についてのご説明があり、続いてカウンター奥の通常非公開となっている書庫へご案内いただいた。ライブラリーの利用には登録が必要だが、音楽関連図書や雑誌、楽譜やレコード、CD、DVDなどが閲覧・視聴できる。規定に従った上で楽譜の貸出も可能である。

書架には資料種別に整然と資料が並んでいて、カウンター係が資料請求の入力をする、それがここのスタッフに通知されて出納するようになっている。オーケストラの楽譜などは各パート譜も含めると1作品で数十冊にもなるので、1つの外袋にまとめて配架しているが、相当な重さになる上に、出納時や返却時のチェックも手間がかかる。スタッフがシフトを組んでカウンターと書庫出納業務を行っているそうだが、そうした資料の特性に応じた丁寧な業務が必要との説明にも納得できた。

次に音楽博物館の見学となり、1階に移動してメロディ・ホールでオーケストリオン（自動パイプオルガン）の演奏を聞いてから2階の展示室へ移り、古典ピアノ室ではとても貴重なチェンバロなどの説明と生演奏を聴かせていただいた。楽器展示室では世界各国の楽器を展示しており、実際に触って音が出せるような展示も用意されていた。オルゴール展示室では、約135年前から現代までのオルゴール（ミュージックボックス）の演奏もあり、自動人形の動きなどに合わせての説明も楽しかった。

そして企画展示室では、「戦後70年『音楽の歩み』展 Music Journey」が開催中であった。ポピュラーミュージックを正面から取り上げた展覧会は初めてとのことのお話であったが、展示室の壁には日本と海外の音楽状況を記した年表があり、これは大変な力作だと思った。展示してある資料もレコードジャケットから楽器、音楽プレーヤーまで多岐に渡っており、来館者が自分の思い出と共に楽しめそうな内容だった。

最後に再び音楽ライブラリーに戻って質疑応答などの時間があつた。私も同様だが他の見学者も以前からこちらのライブラリーに関心があり一度訪れてみたかったという人が多く、話題は所蔵資料の内容から資料収集方針、日常業務の裏話などにも及んで、いろいろなお話を聞くことができた。図書館はバックヤードが大切、という言葉が印象的だった。

民音音楽博物館 音楽ライブラリー <http://museum.min-on.or.jp/>



■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実に永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2015（平成27）年11月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます

松竹大谷図書館カレンダー2016

* 印の日は休館日です

1月 日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	2月 日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29	7月 日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	8月 日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
3月 日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	4月 日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	9月 日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	10月 日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
5月 日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	6月 日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	11月 日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	12月 日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

■ 年末年始休館のお知らせ

平成27年12月26日（土）より
平成28年1月7日（木）まで
年末年始のため休館とさせていただきます

■ 編集後記

▼早いもので、今年も残り一か月を切りました。本年中は大変お世話になりました。一年間無事に活動できましたのも、ひとえに皆様のお力の賜物です。スタッフ一同、感謝の気持ちでいっぱいです。

どうぞよい年末年始をお過ごし下さい。

▼来年のカレンダーができました。2016年の開館日は、左のカレンダーにてご確認くださいませ。ご来館お待ちしております！



● 利用案内

● 開館時間
平日午前10時～午後5時

● 休館日
土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期夏期特別整理期間

※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します。

入館料 無料

閲覧 館内閲覧のみ

交通案内

● 東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分

● 東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分